



National Hospital Organization Minami Kyoto Hospital News

## 新外来棟駐車場のオープンと 呼吸器センターの発足

院長 宮野前 健



今年1月初めより、新外来治療管理棟の運用が始まりました。それに並行して旧外来・管理棟の解体工事および正面玄関と駐車場の整備を順次進めて参りました。これまで出入り口のアクセスに関して大変ご迷惑をお掛けして参りましたが、このたび正面玄関の完成を見ました。正面玄関先の駐車場は広々としており約80台が駐車可能で、障害者用には玄関に近い場所に

5台駐車できます。これまで正面玄関にあったロータリーの緑も残し、四季折々の変化を見ることが出来ます。

当院は戦前より結核の療養所としての歴史と機能を持ち、独立行政法人・国立病院機構に組織替え後も引き続き結核医療をはじめ幅広い呼吸器疾患に取り組んで参りました。

この当院の機能を活かして6月1日より「国立病院機構南京都病院 呼吸器センター」を立ち上げました。また同日に「日本アレルギー学会専門医教育研修施設」の認定も受け、よりいっそう当院の呼吸器疾患の専門性を打ち出すことと致しました。センター長には佐藤敦夫医師が就任し、11名の呼吸器専門医が対応し、この内5名が呼吸器指導医の資格を有する陣容です。

山城地域ばかりでなく広く京都府下、府外からも患者さんを受け入れており、地域の皆様方のご支援のもとに診療を行って参ります。今後とも宜しくお願い申し上げます。



## 着任のご挨拶

看護部長 下門 すみえ



皆さん はじめまして 4月に敦賀医療センターから参りました看護部長 下門です。

南京都病院には、今まであまりご縁がありませんでしたが、呼吸器疾患、重心医療、神経筋難病等の専門医療機関として、診療や研究に熱心に取り組まれている職員の方の姿勢を見るにつけ、今回縁あって勤務させていただくこととなったことを、大変うれしく感じています。

また、1月に外来棟の更新築が終わり、電子カルテの更新とハード面が大変整っており、気持ちよく働かせていただいております。

これから力を入れて行きたいことは、人材育成と働きやすい環境づくりです。

電子カルテは、導入されたもののまだシステム的に追加が必要なことや使い慣れていないことで活用が不十分であることも聞いています。医療安全に関わる重要な要素である医師の指示受けから与薬実施に関わるプロセスや看護においては、看護計画立案・実施・評価修正等看護のプロセスに関わるところが十分に機能するよう検討を進めていく必要があると感じています。看護師の教育において幸いにも先生方に多大な支援をいただき、チーム医療としてもよく機能していると感じていますので、当院の持つ病院機能を十分に果たすことができるように、看護師が誇りを持って働いていけるよう環境を整えていきたいと思っています。そのためには、専門的知識を持つ認定看護師や呼吸療法認定士等を活用し、現場での看護の底上げを図っていききたいと思っています。また、地域包括ケアシステムの構築が社会的に課題となっている今日、慢性疾患の患者さんにおいては、地域との連携を深め、患者さんが地域で生きていくことを支えていけるシステムづくりが不可欠です。入院時から退院・在宅へとそこに関わる看護師の育成も重要と認識しています。7月から入院支援センターを機能させ、入退院支援看護師を育成していこうと考えております。皆さんからのアイデアを頂きながら、共に創り上げていきたいと思うことがたくさんあり、とても楽しみです。どうぞよろしくお願いいたします。



## 呼吸器センターを開設します

副院長 坪井 知正



平成30年6月1日より、呼吸器科と呼吸器外科を統合し、呼吸器疾患全般に専門的かつ世界水準の医療を提供するため、呼吸器センターを新設しました。センター長は佐藤敦夫統括診療部長に就任いただきました。

内科部門は常勤医9名、非常勤医2名のスタッフで構成されており、内科専門医を6名、呼吸器指導医を5名、呼吸器専門医を

11名が取得しています。外科部門は常勤医1名、非常勤医2名で構成されています。京都府下では、臨床経験と専門性の観点から、おそらく京都大学に次ぐ陣容になったと自負しています。地域の医療者の方々に気軽にご相談・ご利用いただければと考えております。

南京都病院では一日平均で一般呼吸器疾患75名、肺結核15名の患者さんの入院治療を行っています。ほぼ全ての呼吸器系疾患の診断と治療に精通したスタッフを揃えています。呼吸器センターにすることで内科系と外科系がより緊密に連携可能となり、肺癌の早期診断と待機時間を最小限とした手術移行を実現し、さらに、個々の患者さんの特性に合ったより専門性の高いプレジジョン・メディシン（精密医療）を深めてまいりたいと考えています。

外来部門では、各医師の専門性を活かして、肺がん（外来化学療法）、COPD、間質性肺炎、肺非結核性抗酸菌症・気管支喘息（慢性咳嗽）・慢性呼吸不全・睡眠時無呼吸症候群・肺結核・禁煙などの専門外来をさらに充実させてまいります。

また、多くの患者さんの希望がかなえられるよう、どの医師が主治医になっても「南京都スタンダード」の医療を受けられるよう、クリニカルパスと医師カンファランスを充実させ、提供できる医療内容を標準化してまいります。また、これまで包括性を欠いていた、各種カンファランス（呼吸ケアリハビリテーション、栄養サポートチーム、摂食嚥下、緩和医療）を統合してより実質的なものに磨き上げたいと考えています。

さらに、呼吸器センターに神経内科病棟（西病棟3階）の呼吸管理を担当するチームを作り、神経内科医師・ME室・病棟スタッフと協力してALSを中心とした神経難病の人工呼吸管理を行ってまいります。

呼吸器センターは、日常臨床の充実だけではなく、世界的な臨床研究を目指しています。昨年度は呼吸ケアリハビリテーション学会の医師部門優秀演題賞4題中3題を南京都病院が受賞いたしました（残りの1題は京都大学の准教授が受賞しました）。今後とも、各々の専門医が、患者さんに直接役立つ臨床研究を企画立案してまいりますので、無理のない範囲でご協力いただきますようお願い申し上げます。

## 地域医療に力を傾けておられるみなさまをご紹介します

地域のコンビニ医院として患者さんと共に歩む医療を目指します！

### 山口医院

内科

循環器科

リハビリ科

院長 山口 勝造 先生



医療法人社団どろんこ会山口医院は平成10年12月19日に宇治田原町銘城台に開院しました。今年で20年になります。その間、“宇治田原のコンビニ医院”をモットーに地域を支え地域に支えていただく医院を目標にやってきました。開院当初からスタッフと共に、もうこれで良しという現状に満

足しない常に前向きな医療を心がけてきました。幸いにも地域に密着したアットホームな医院として宇治田原の皆様の信頼を得て、デイケアセンターや小規模デイサービスのマドンナ、訪問リハビリ、居宅ケアプランセンターなど介護の分野にも関わらせて頂いております。また超高齢化社会が進む中、独り住まいの方や認知症の方が増え、私も認知症サポート医として地域にさらに関わらせていただこうと思っております。これからはどろんこ会の名の如く泥だらけになって地域医療に取り組んでいく決意です。南京都病院さんには呼吸器の専門外来だけでなく、物忘れ外来等でも大変お世話になっており、これからもどうかよろしくお願い致します。

■ 京都府綴喜郡宇治田原町銘城台7-1  
■ TEL 0774-88-5889  
■ FAX 0774-88-5893

| 診療時間            | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-----------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前診 8:30~12:00  | ○ | ○ | ○ | ／ | ○ | ○ | ／ |
| 午後診 17:00~20:00 | ○ | ○ | ○ | ／ | ○ | ／ | ／ |

■ 休診日 木曜日・日曜日・祝祭日



お子さまからご年配の方に ご家族まるごと、あたたかく寄り添いサポートします。

### (福) 同胞会 訪問看護ステーション いろいろ

訪問看護

いろいろはご本人やご家族のご希望を出来る限り受け入れ、様々な環境と心情に添うケアを行い、日々の暮らしをサポートします。

訪問看護では「症状と付き合いながらの生活を組み立てる」をお手伝いします。「症状と付き合いながらの生活」とは、「症状に振り回されない生活」です。人は見えないものに恐怖を感じ、知る事で対処できるようになります。訪問看護では見えない感情や症状を生活の中から見えるようにしていきます。私達が大切にしている事は、利用者様と“今を共有する事”です。利用者様が主体的に生活を送れるように、脇役としてサポートしていきます。

いろいろは平成29年9月から活動し、看護師3名体制で宇治市を中心に伏見区・城陽市・久御山を訪問区域としています。対象の利用者様は小児～高齢者までを対象とし医療保険と介護保険の利用ができます。また、いろいろは精神疾患を主体とし、主にうつ病・社会不安障害・パニック障害・産後うつ・統合失調症・引きこもり発達障害の方を支援しています。

服薬管理や通院が困難な方、社会生活や人間関係に不安がある方、相談相手を必要とされている方、その他ご家族様からのご相談も随時お受けしております。



■ 京都府宇治市小倉町西山44-4  
■ TEL 0774-20-4080  
■ FAX 0774-20-2230  
■ 営業日・営業時間  
平 日 午前8:30～午後6:30  
定休日 日曜日・祝日



## 西病棟1階 重症心身障害児(者)病棟

「共に楽しく、生きる喜びを感じる毎日」を大切に作る病棟

西病棟1階 看護師長 中村 明美

当病棟は日常生活援助や療育を中心とした、重症心身障害児(者)病棟です。言語的コミュニケーションが困難な患者さんが多いため、表情や些細な変化など患者さんが発するサインを見逃さないようにしています。また、患者さんの持てる力を医師、看護師、療養介助専門員、保育士、児童指導専門員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士等多職種でサポートし、『患者さんも元気、私たちが元気、私も、あなたも元気に楽しく笑顔で過ごそう!!』をキャッチフレーズに毎日ケアを行っています。

支援活動として遠足・春のお花見・夏季のプール遊びなどの行事、患者さん個別の外出支援なども行っています。ご家族から「体調を崩さず日々の生活の中で季節を感じることは子供が生きると実感する」という声をいただいています。患者・家族の思いを尊重し、患者さんが安全・安楽に生活できるように個々の重症心身障害児(者)の方の特徴に合った適切なケアについて考え、スタッフで共有し実践しています。また新人スタッフにたいしては、患者さんの「何か変」「いつもと違う」と些細な変化に気づき予防的対処ができるようになるまで指導しています。現在、病棟ではポジショニングや口腔ケアなど肺炎予防に力を入れています。

そして、在宅で医療的ニーズが高い重症心身障害児(者)の方に対して短期入所の受け入れも積極的に行っています。利用者さんに安心して利用していただけるよう、外来での事前診察への参加や、必要時は在宅訪問も行っています。



病棟での勉強会



病棟の中庭でピクニック気分を満喫

私たちは日々知識を習得し、スタッフ一丸となって患者さんに看護ケアを行います。  
毎日のケアの積み重ねの中で患者さんの笑顔に出会えることが私たちのやりがいにつながっています。

## 『健康フェア』を開催しました

5月19日（土）に、アルプラザ城陽店で、地域の皆さんの健康増進に役立てていただくことを目的に、『健康フェア』を開催しました。当日は、当院スタッフ32名が参加し、血圧、呼吸機能、骨密度の検査計測や物忘れ、飲み込みのチェック、診療、看護、介護、栄養、薬剤の健康相談等を行いました。また、お子さんを対象とした体験コーナーでは、看護師や医師の白衣を着ていただき、城陽市のゆるキャラ「じょうりんちゃん」と一緒に写真撮影を行いました。

各コーナー合わせ、延べ1,336人の方にお越しいただき、体験コーナーでは、お子さんの明るい笑い声も聞こえ、大盛況となりました。

今回参加の方々よりいただきましたご意見をもとに、今後も地域の皆さんの健康増進に役立つ楽しい『健康フェア』を企画していきたいと思えます。



健康フェアスタッフ一同

### 交通のご案内

● 各駅より送迎車あり

- 近鉄京都線 新田辺から 京阪宇治バス約15分
- JR学研都市線 新田辺から 京阪宇治バス約15分
- JR奈良線 山城青谷から 徒歩20分

### 診療科のご案内

|                           |                           |                      |
|---------------------------|---------------------------|----------------------|
| ● 呼吸器科                    | ● 神経内科                    | ● 小児科                |
| ● 内科                      | ● 外科                      | ● 消化器科               |
| ● 呼吸器外科                   | ● 循環器科                    | ● 整形外科               |
| ● 皮膚科                     | ● リハビリテーション科              | ● 放射線科               |
| ● 麻酔科                     | ● 歯科                      | ● 耳鼻いんこう科            |
| <small>(入院患者のみ対象)</small> | <small>(入院患者のみ対象)</small> | <small>(休診中)</small> |

独立行政法人国立病院機構

## 南京都病院

(当院は在宅療養あんしん病院に登録しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください)

〒610-0113 城陽市中芦原11番地  
 TEL.0774-52-0065 FAX.0774-55-2765  
 URL <http://mkyoto-hosp.jp/>

地域医療  
連携室

- **ダイヤルイン** 0774-52-0114 (内線 222)
- **直通 FAX** 0774-58-0270
- **E-mail** [renkei@mkyoto.hosp.go.jp](mailto:renkei@mkyoto.hosp.go.jp)